

## 公益社団法人沖縄県理学療法士協会 令和6年度定時総会議事録

1. 開催日時：令和6年6月8日（土） 受付 13：30～ 総会 14：00～15：30

2. 開催場所：ロワジールホテル那覇 3階龍宮（那覇市西 3-2-1）

### 3. 総会次第

(1) 沖縄県理学療法士協会 末吉 恒一郎 副会長は開会を宣言し、挨拶を述べた。

(2) 総会出席者数報告

本日の出席会員その議決権数について久高将臣事務局長が報告、本定時総会の決議事項すべてについて、決議に必要な定足数を満たしている旨を報告した。

1) 正会員数：1,422名

2) 出席正会員：775名（出席49名、議決権行使書406名、委任状320名）

(3) 議長及び議事録署名人選出

司会から議長の立候補を募ったところ議長に 山城 忍 会員、宮里 真司 会員の両氏から立候補があり、参加者からの挙手にて承認された。引き続き、議事録署名人立候補を募ったところ議事録署名人に 川門 奈名恵 会員、比嘉 祐樹 会員の両氏から立候補があり、参加者からの挙手にて承認された。

(5) 議事の進行および結果

・第1号議案 令和5年度事業報告に関する件

・第2号議案 令和5年度収支決算書に関する件

小嶺衛会長から議案書を基に総括報告が、次いで、久高将臣事務局長より議案書を基に令和5年度事業報告、正味財産増減計算書、貸借対照表及び、財産目録の説明がなされた。

次いで、「監事監査報告」に関して仲西孝之監事、千知岩伸匡監事の両名より報告がなされた。

山城議長より第1号議案、第2号議案について会場から質問等を求めた。

第1号議案について

質問：（城間会員）総括報告にて沖縄県理学療法士連盟との連携と記載されているが、政策活動推進委員会の間違いではないか。総括報告で令和5年度の事業計画に対する重点事項の成果、達成度、進捗など示してほしい。アウトプットをマネジメントすることで次年度計画に反映できると思う。

返答：（小嶺会長）記載については、ご指摘の通りかもしれません。成果や達成度や進捗などを会員の皆様に提示できるようにしていきたい。

質問：（城間会員）理学療法を通じて、県民の医療、保健、福祉の増進に寄与するための事業、一般講演会の実施報告は、県教育長などには情報提供されているのか。事業報告について、派遣者あるいは派遣講師を記載されている箇所が見受けられるが、本来は参加者も記載すべきではないか。

返答：（久高理事）事業報告の県教育長への報告に関してご指摘ありがとうございます。検討したいと思う。

（金城理事）派遣者と参加者を分けるよう次回共通した記載にしていきたい。

（仲宗根理事）会員の派遣者数だけでなく、参加された市町村の皆さんの人数を把握して記載できるように努めていく。

質問：（城間会員）続けて、1点目は介護予防健康増進キャンペーン2023YouTube 動作投稿は視聴者数を確認したい。シルバーリハビリ体操派遣の未開催理由を教えてください。災害等に関する事業第2回人材育成講座の「久手堅智恵」の漢字が誤字になっているので訂正をお願いします。

返答：（久高理事）YouTube に動作投稿の成果としては、50周年記念座談会の視聴回数73回、2023年学術大会86回。参考として、県内放送局のYouTube 動画視聴回数が339回と影響が大きいことが示唆された。

シルバリーリハビリに関しては、事業見直しとなっている。氏名記載ミスにつきましては修正します。

質問：(城間会員) 協会指定管理者初級研修会の参加者5名は事業として妥当か。対象者やニーズを踏まえ、あり方を検討してはどうか。昨年度の協会指定管理者リーダー研修は大変良かった。もっと広報して再度開催してほしい。その他この法人の目的を達成するために必要な事業県内学校向けアンケートにて会員6名からの回答があったということか。

意見だが、県や市町村の受託事業を1000万円近くの予算規模で受託していることは他都道府県士会と比較してもトップクラスだと思われる。社会から認められているということなので、重点的に人や予算を投入する方が事業収入の担保にも繋がるかと思う。これに関わる事務局や会員はもう少しアピールしてもいいと思う。

返答：(上地事務長) 年々初級研修受講者が減っており、令和5年から初級研修受講者のフォローアップを開催しているが、増えないのが現状。ニーズやあり方について再検討していきたい。リーダー研修会はどんどん企画していきたい。

(久高理事) 事業受託については人材育成ならびに広報に努めていきたい。アンケートは担当会員の人数である。

意見：(城間会員) ステークホルダーは県民であることを認識して報告してほしい。

返答：(仲宗根理事) 受託事業は各市町村から相談を受けて受託契約を結ぶ過程となっているが、現在は1人体制となっているため人材育成が課題である。会員への周知や実際の業務はOJTを含め今年度は人材育成にも重点を置き進めていきたい。専門職がない離島からの問い合わせも増えているため興味のある方がいれば教えて欲しい。

意見：(城間会員) 派遣者は受託事業予算から支出し、同行者1人を協会予算で支出し後任者育成を行ったらどうか。体調不良等で対応できない場合に市町村の信頼を失い兼ねない。先行投資的と考えてご検討ください。

返答：(仲宗根理事) 一応、OJTで障害事業部と連携して私と同行してもらおう体制で昨年度実施したが、実務的なレベルとなると回数が必要かと感じた。多くの時間と多くの人の協力が必要かと思うのでよろしくお願いします。

## 第2号議案について

質問：(城間会員) 正味財産増減計算書にて、給与手当、印刷製本費、会議費、諸会費の減額の理由を確認したい。

返答：(久高理事) 給与手当については事務員の給与だが、事務員1名が育児休暇取得による減額。印刷製本費に関して、紙媒体からPDF化による減額である。

質問：(城間会員) 続けて、正味財産増減額が約178万円という事で正味財産期末残高の減少の見通しを教えてください。

返答：(久高理事) 監事からも監査時に同様の質問があった。令和2年度のcovid-19の影響による事業未執行予算があり、収支相償を踏まえた事業増加による支出増が影響している。会員数が伸び悩んでいることも赤字の要素であるが、令和6年度より会費および受託事業以外の収入に関する検討や、事業成果をもとにした見直しを行っていきたい。

続けて質問(城間会員) 当協会が構成団体となっている沖縄県リハビリテーション専門職協会(以下、リ専協)への支出について報告がない。費用がどのように活用されているのか。リ専協も沖縄県の事業受託にて受託費をいただいている。その事業費で運営可能と考えられることから、当協会から支出する必要はないのではと思う。支出する根拠を示して欲しい。

返答：(立津副会長) リ専協監事の立場で申しますと、昨年度と本年度は赤字決算で

あった。しかし、**covid-19**の影響による事業未執行のため受託費が減額になったため、構成団体からの拠出金にて運営しているのが現状である。

(小嶺会長) リ専協副会長の立場で申しますと、**covid-19**の影響により県受託事業が実行できなかったため、受託費が入らなかったため赤字というのが現状である。

意見：(城間会員) そもそも、費用については検討していただきたい。

続けて質問：(城間会員) 市町村受託事業収入の増額の理由ならびに今後の展望について伺いたい。また、正会員受取会費減額の理由を伺いたい。

返答：(上地事務局長) 昨年度は座間味村と恩納村より新規に事業を受託した。令和6年には新たに那覇市と宮古島市より事業受託予定である。

(久高理事) 会費減額理由は会員数減による影響である。平成29年がピークで、29年移行で一番少ない状況である。

山城議長より採決を求め、

第1号議案 賛成 773 個、反対 4 個

第2号議案 賛成 773 個、反対 4 個

いずれも賛成多数にて承認された。

・第3号議案 令和6年度事業計画に関する件

・第4号議案 令和6年度収支予算に関する件

小嶺衛会長にて議案書を基に総括計画の説明ならびに、各局より事業内容に関し議案書を基に令和6年度事業計画の説明が行われ、続いて久高将臣事務局長より、令和6年度収支予算書の説明がなされた。

山城議長より第3号議案、第4号議案について会場から質問等を求めた。

第3号議案について

質問：(安里会員) 2点確認。減災プロジェクト委員会(減プロ)に昨年度より所属しているが、まず1点目はBCP策定・減プロに関して、一昨年と昨年度に理事や支部長・副支部長および部長・副部长対象の勉強会が開催されている。会員全体に広げるのはどうか。会員の認識も高められる。もう1点は休会に関する取り組み。具体的にどうするのか。休会、退会率の原因について分析がされていてどのようなことをしたら回復していくのか考えを伺いたい。

返答：(小嶺会長) 減プロではこれまで2回研修を行っており、1回目は理事・監事・支部長に行った。2回目は副支部長や部長・副部长を対象に実施した。その次に部委員、会員へと層を広げて行くことを見据えている。

(久高理事) 研修開催順序については減プロからの提案と理解している。今後、減プロ委員として委員会にて発言し、企画提案して頂けるとありがたい。

2点目の休会・退会率に関しては、繋がりの希薄化が原因と考えている。直接声掛けして参加を促し、仲間に取り込んでいき参加・活動することが休会・退会者減につながると考えている。他の都道府県でもつながりに苦労している状況。各支部意見を出して行くことで活性化すると変わってくると期待している。

意見：(安里会員) 会員の中にもメリットやデメリットという考え方が強くなってきているように感じる。それも休会・大会の要因となっていると感じるので、把握して取り組むことが大事だと考えている。

補足：(末吉副会長) 退会・休会に関して、一番大きい理由としては会費負担が大きい。次に妊娠・出産、勉強会・講習会への参加が困難というのが理由としてあがっている。会費については全国的にも言われているが、会費を下げることで、

休会、退会が減らないのが現状のようである。他協会からも情報収集しながら検討していきたい。

質問：(池城会員) 県内養成施設との意見交換会及び四年制大学への推進について、具体的にどういう形で協会として取り組んで行くか聞かせていただきたい。

返答：(小嶺会長) 養成校連絡会を立ち上げていただいているが、具体的な方法までは検討していない。

意見：(池城会員) 世界では4年生課程での養成教育が主流なのに対し、日本では3年生養成課程教育が行われていることについて国会で質問されている。代議員総会では、大学を踏まえた4年生課程へどのように進めていくかを日本理学療法士協会役員より話があった。沖縄県でもどのような形で進めて行くのか、考えがあればお伺いしたい。

返答：(小嶺会長) 当会でもどのように進めていくのか、検討していきたい。

要望：(城間会員) 2点要望。1点目、政策提言のための基盤強化については再度理事会で審議して欲しい。協会内部でできることを重点政策あげると各会員自身が行動しやすくなると思う。例えば会員の政策リテラシー向上として、新しくなった医療構想の勉強会を行政を招いて行った方が意味があると思うので、検討して欲しい。もう1点は理事会の運営について、オンラインではなく対面で行って欲しい。先ほど事務局長より「繋りが組織率には大事」と話されていたが、理事会がオンラインだと本末転倒だと思うのでぜひ対面開催でお願いしたい。

#### 第4号議案について

質疑応答なし。

山城議長より採決を求め、

第3号議案については、賛成 773 個、反対 4 個

第4号議案については、賛成 772 個、反対 5 個

いずれも賛成多数にて承認された。

#### ・第5号議案 役員選任に関する件

選挙管理委員会の代理にて上地事務長より報告。当協会の定款第24条、第25条及び選挙規定第4条に基づいて、令和6年4月1日に役員選挙を告示し、4月10日(水)正午から4月16日(火)正午の期間で立候補を受け付けたところ、理事15名、監事2名の立候補があった。5月8日(水)の理事会にて立候補者が定数内であったため無投票当選となったことを報告している。定款第25条「理事及び監事は、総会の決議によって選任する」ことになっているので審議願いたい。

宮里議長より各候補者の理事承認、監事承認について採決を求めた。

会場より一括承認の提案あり、挙手にて承認された。

宮里議長より、一人ひとり理事および監事候補の名前を読み上げたのち、一括承認にての採決をもとめ、賛成多数で承認された。

金城 良和 会員の承認可否について

賛成 766 個、反対 11 個により、賛成多数にて承認された。

平良 雄司 会員の承認可否について

賛成 766 個、反対 11 個により、賛成多数にて承認された。

安村 大拙 会員の承認可否について

賛成 767 個、反対 10 個により、賛成多数にて承認された。

高安 信吾 会員の承認可否について

賛成 766 個、反対 11 個により、賛成多数にて承認された。

久高 将臣 会員の承認可否について

賛成 769 個、反対 8 個により、賛成多数にて承認された。

上地 誠之 会員の承認可否について

賛成 766 個、反対 11 個により、賛成多数にて承認された。

下里 真司 会員の承認可否について

賛成 767 個、反対 10 個により、賛成多数にて承認された。

玉城 すみれ 会員の承認可否について

賛成 767 個、反対 10 個により、賛成多数にて承認された。

當間 智史 会員の承認可否について

賛成 765 個、反対 12 個により、賛成多数にて承認された。

立津 統 会員の承認可否について

賛成 763 個、反対 14 個により、賛成多数にて承認された。

宮里 由乃 会員の承認可否について

賛成 766 個、反対 12 個により、賛成多数にて承認された。

仲宗根 美紀 会員の承認可否について

賛成 766 個、反対 11 個により、賛成多数にて承認された。

比嘉 俊文 会員の承認可否について

賛成 766 個、反対 11 個により、賛成多数にて承認された。

武富 新太郎 会員の承認可否について

賛成 764 個、反対 13 個により、賛成多数にて承認された。

末吉 恒一郎 会員の承認可否について

賛成 772 個、反対 5 個により、賛成多数にて承認された。

宮里議長より各候補者の監事承認について採決を求めた。

千知岩 伸匡 会員の承認可否について

賛成 775 個、反対 2 個により、賛成多数にて承認された。

南部 路治 会員の承認可否について

賛成 767 個、反対 10 個により、賛成多数にて承認された。

・第 6 号議案 選挙管理委員の選出に関する件について

選挙管理委員会の代理にて上地事務長より報告。任期満了に伴い選挙規定第 3 条に基づいて募集を行い、4 名の立候補について審議願いたい。

山城議長より各候補者の選挙管理委員承認について一括承認の提案あり、挙手にて承認された。その後候補の名前を読み上げたのち、採決を求めた。

賛成多数にて承認された。

砂川 昌信 会員の承認可否について

賛成 771 個、反対 6 個により、賛成多数にて承認された。

稲福 啓太 会員の承認可否について

賛成 766 個、反対 11 個により、賛成多数にて承認された。

島袋 公史 会員の承認可否について

賛成 771 個、反対 6 個により、賛成多数にて承認された。

佐久田 衛 会員の承認可否について

賛成 769 個、反対 8 個により、賛成多数にて承認された。

山城議長から、令和6年度定時総会のすべて議案について承認が得られたことが告げられた。

(8) 閉会宣言を立津副会長より述べられた。

上記議事ならびにその結果を明確にする為、この議事録を議長、議事録署名人の記名押印を下記に記す。

令和6年6月8日(土)

公益社団法人沖縄県理学療法士協会 令和6年度定時総会

4. 議長および議事録署名人ならびに議事録作成者

議長 山城 忍 宮里 真司

議事録署名人 川門 奈名恵 比嘉 祐樹

議事録作成者 馬上 恒弥 新垣 龍一

5. 出席理事ならびに監事

会場出席理事 小嶺 衛 末吉 恒一郎 立津 統

久高 将臣 平良 雄司 当真 祐二

仲宗根 美紀 比嘉 俊文 宮里 由乃

玉城 すみれ 金城 良和 神谷 喜一

武富 新太郎

監事 仲西 孝之 千知岩 伸匡